

# 新築大作戦

私の専門は建築です。自宅の発注書が、その中でも住宅の性能では断熱性能と気密性能評価がライフワークで能に關して数値で示す。県内の五業者を対象に行った自宅の設計コン

断熱性能は「熱損失係数」で評価されます。この数値は、暖房時の室内の温度差が一度のとき住宅に性能があるのか外の温度差が一度のとき

断熱性能は「熱損失係数」で評価されます。この開口と考え、この面積を床面積で割った値で示さ

断熱性能は「熱損失係数」で評価されます。この開口と考え、この面積を床面積で割った値で示さ

断熱性能は「熱損失係数」で評価されます。この開口と考え、この面積を床面積で割った値で示さ

## 設計コンペ下

断熱性能は「熱損失係数」で評価されます。この開口と考え、この面積を床面積で割った値で示さ

断熱性能は「熱損失係数」で評価されます。この開口と考え、この面積を床面積で割った値で示さ

断熱性能は「熱損失係数」で評価されます。この開口と考え、この面積を床面積で割った値で示さ

# 性能・設備にも配慮

もしもせんが、自動車と同じように、住宅にもさまざまな性能があります。最近、住宅広告などでよく使われているのは断熱性能や気密性能です。これ以外にも採光や通風、遮音などの性能があります。

断熱性能や気密性能は住宅金融公庫の割り増し二・七割以下としています。融資の対象にもなっています。

断熱性能は「熱損失係数」で評価されます。この開口と考え、この面積を床面積で割った値で示さ

断熱性能は「熱損失係数」で評価されます。この開口と考え、この面積を床面積で割った値で示さ

断熱性能は「熱損失係数」で評価されます。この開口と考え、この面積を床面積で割った値で示さ

■わが家の発注仕様書（性能・設備）■

住宅の性能と設備	
気密性能	すき間の有効開口面積 1.5 c m <sup>2</sup> 以下
断熱性能	熱損失係数 2 W以下 基礎断熱 屋根断熱、 窓は木製サッシ+ペアガラス
暖房設備	1つのシステムで家全体を暖房 部屋ごとに個別に温度が制御できる 床暖房でも良い 全電化でも可
冷房設備	1つのシステムで家全体を冷房 書斎のみ個別冷房
換気設備	1つのシステムで家全体を換気 熱交換型換気システムが望ましい 書斎のみ個別換気扇
掃除機	セントラルクリーナー（屋外に本体があり 各部屋に配管がしてある）
外観	メタリックで落ち着いた雰囲気
必要図面	1/50程度の平面図、立面図 概略の見積書

気密性能と断熱性能の詳しい説明は次のホームページを参照。http://www.konsapporo.jp/index/html

性能・設備にも配慮

家が住宅の性能とバランスが取れていることが重要です。新築では、暖冷房機器は家を建ててから買ってくるのが常識のようです。しかし、本当に快適な室内環境を求めるなら、家の設計段階で暖冷房設備の選定を行う必要があります。

家が住宅の性能とバランスが取れていることが重要です。新築では、暖冷房機器は家を建ててから買ってくるのが常識のようです。しかし、本当に快適な室内環境を求めるなら、家の設計段階で暖冷房設備の選定を行う必要があります。

家が住宅の性能とバランスが取れていることが重要です。新築では、暖冷房機器は家を建ててから買ってくるのが常識のようです。しかし、本当に快適な室内環境を求めるなら、家の設計段階で暖冷房設備の選定を行う必要があります。

家が住宅の性能とバランスが取れていることが重要です。新築では、暖冷房機器は家を建ててから買ってくるのが常識のようです。しかし、本当に快適な室内環境を求めるなら、家の設計段階で暖冷房設備の選定を行う必要があります。

家が住宅の性能とバランスが取れていることが重要です。新築では、暖冷房機器は家を建ててから買ってくるのが常識のようです。しかし、本当に快適な室内環境を求めるなら、家の設計段階で暖冷房設備の選定を行う必要があります。

（赤林伸一・新大自然 科学研究所助教）